

「令和5年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート（No.16）」

■ 研修時期・研修先

時期：令和5年11月8日（水）

研修先：株式会社いわて若江農園（盛岡市）

■ 研修生について

将来は、盛岡市で独立就農を考えるRさん。

Rさんは、トマトをハウスで周年栽培するにあたっての基礎知識及び経営指標を学びたいと、(株)いわて若江農園を研修先としてお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

(株)いわて若江農園は、「強い農業生産法人を構築し、誇れる一次産業を目指す。」を経営ビジョンに掲げ、他産業並みの所得水準、労働環境に向けて取り組んでいます。

また、研修生の受入れも積極的に取り組んでおり、今年度の体験研修受入は今回が2回目となります。

販売は、岩手生協をメインに販売しています。

レポート(No.10)も参照ください。

【HP】 https://agri.mynavi.jp/2020_07_01_120709/

※「マイナビ農業」タイアップ記事

【FB】 <https://www.facebook.com/wakaefarm/>

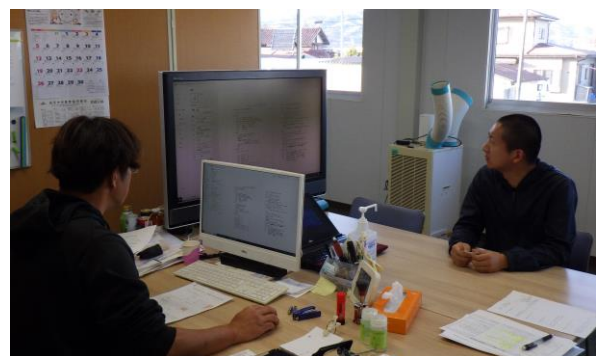
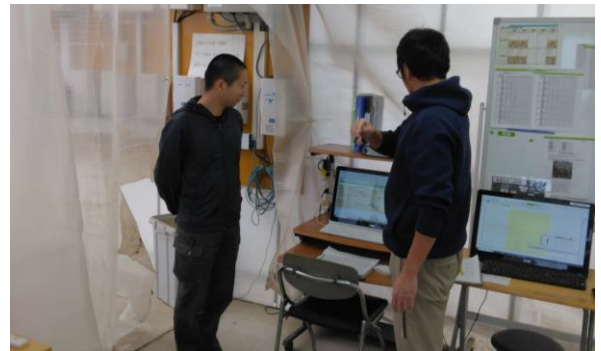


■ 研修の内容

ミニトマトの収穫・パック詰め、施設見学、就農準備から規模拡大に至るまでのガイダンス。

■ 研修の感想

- ・ 社員の方に施設及び環境制御機器の説明をいただきながら見学できたことは、とても勉強になりました。
- ・ ガイダンスでは、「自分が将来、どのような農業をやりたいのか目標を持って就農する。農地は、借地からスタートするのがセオリー。就農当初から大規模で始めるのではなく、生産技術を確立してから、規模拡大を図った方が良い」といったアドバイスをいただき、自身が持っていた様々な疑問点が解消したとのこと。



■ 今後の目標等

- ・ 農業をやりたい気持ちに変わりはなく、来年1年間は農業研修を受けながら、農地を探し、2年後から新規に就農したいです。